

プノンペン南西部灌漑・排水施設改修・改良計画【カンボジア】

施策所管局課 国別開発協力第一課

評価年月日 令和7年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	カンボジア王国
(2) 案件名	プノンペン南西部灌漑・排水施設改修・改良計画
(3) 目的・事業内容 * 閣議決定日、供与条件などを含む	<p>本事業は、プノンペン南西部の農村部貧困地域において灌漑排水施設等を改修・整備することにより、対象地域の農業生産性の増加を図り、もって同地域の農民の生計向上に寄与するもの。</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 灌漑排水施設の改修・整備</li> <li>・ コンサルティング・サービス</li> </ul> <p>ア 閣議決定日：平成26年6月27日                  イ 供与限度額：56.06億円                  ウ 金利：0.01%                  エ 償還（据置）期間：40年（10年）                  オ 調達条件：一般アンタイド</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>本事業の計画当初、カンボジアにおいてGDPの3割以上を占める主要産業であり、貧困削減の観点からも重要なセクターである農業に必要とされる灌漑排水施設の老朽化、設計・施工上の不備・不具合、及び維持管理不足等が問題となっており、灌漑用水の安定的な供給による生産性の向上が課題となっていた。</p> <p>現在においても、農業は同国のGDPの2割以上を占め、特に貧困層の多くが居住する地方部において引き続き重要な産業である。また、灌漑排水施設の老朽化等に伴い天水依存型の稲作が主流となっており、引き続き生産性の向上が求められることから、本事業に関する社会的ニーズが認められる。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p>

	<p>為替変動や設計変更による事業費の大幅な増加が発生し、事業スコープの調整に時間を要した。その後、コントラクターの調達中に更なる急激な為替変動が生じたため、事業費が不足することとなり、2023年4月に追加借款契約を締結した。コントラクターとの契約締結、着工は追加借款契約の締結を待つ必要があったため遅延が発生したが、2023年6月より工事が進められている。</p>
<p>(2) 今後の対応方針</p>	<p>本件に関する社会的ニーズは引き続きあり、当初予定からスコープの変更はあったものの、事業完成後は予定どおりの事業効果が見込まれることから、支援を継続する。</p>
<p>3 政策評価を行う過程において使用した資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交換公文</li> <li>・ <a href="#">外務省の約束状況に関する資料及び案件概要</a></li> <li>・ <a href="#">国際協力機構の案件検索</a></li> <li>・ <a href="#">国際協力機構の事業事前評価表</a></li> <li>・ そのほか国際協力機構から提出された資料</li> </ul>